

12月定例会の概要

会期 12月3日から12月19日までの17日間

会期中の主な動き

●12月13日…人権・少子高齢化問題等対策特別委員会

一般質問議員 16人

12月10日(火)		12月11日(水)	
岩田 弘彦	岩井 弘次	玄素 彰人	鈴木 徳久
片桐 章浩	杉山 俊雄	中本 浩精	佐藤 武治
12月12日(木)		12月13日(金)	
川畑 哲哉	谷口 和樹	奥村 規子	山家 敏宏
藤山 将材	長坂 隆司	北山 慎一	吉井 和視

議案等の議決結果

項目	件数	概要	結果
予算案件(知事提出)	3件	令和元年度和歌山県一般会計補正予算 等	可決
条例案件(//)	17件	知事及び副知事の給与その他の給付条例の一部を改正する条例 等	
決算案件(//)	2件	平成30年度和歌山県歳入歳出決算の認定について 等	認定
その他案件(//)	11件	令和元年度建設事業施行に伴う市町村負担金について 等	可決
意見書	1件	スマート農業の実現による競争力強化の加速を求める意見書	可決

主な質問とこれに対する知事や関係当局の答弁は次のとおりです。(要約)



※「スペースワン社 提供」

紀南地域の医療人材確保

問 県立なぎ看護学校の学生の確保や就職はどういう状況か。また、紀南地域ではどのように看護職員を確保していくのか。

答 なぎ看護学校では、地元高校への訪問・説明により、入学定員を確保しています。しかし、卒業生の県内への就職は最近5カ年で6割程度、紀南地域に限ると3割程度となっています。就職説明会の開催や、修学資金貸与制度での返還免除の要件緩和等により、今後も、地域医療の担い手となる看護職員の確保に努めていきます。

ロケット射場の立地と宇宙教育

問 串本町へのロケット射場立地を今後の宇宙教育にどう生かしていくのか。

答 串本町が日本で最初の民間ロケット射場として選ばれ、発射の様子を子供たちが直接見ることができるようになります。その迫力や高度な技術に大いに刺激され、好奇心や探究心、地元に対する誇りが生まれるなど、学習の幅も広がると期待しています。地元教育委員会や関係機関と連携し、宇宙をはじめとする科学への興味・関心、地域貢献への意欲や国際的な感覚を培うなど、多方面にわたる学習意欲の喚起につなげていきたいと考えています。

令和2年度の新政策

問 令和2年度当初予算編成に向けて、新政策の基本的な考え方についてはどうか。

答 本県の人口減少は依然として深刻で、様々な課題や未解決のものも沢山あります。加えて、労働力不足や少子化など、対策を急がなければならぬ問題が重大な局面を迎えています。そこで、令和2年度の新政策については、子供を安心して育てる環境を充実する、労働力を確保する、新産業の創出や先端技術の導入を加速化する、県民のいのちと快適な暮らしを守る、地域の魅力を高めるといった5つの視点を重点事項として取り組んでいきたいと考えており、議員や市町村の意見も踏まえ、来年度予算案を作成して2月定例会に提案します。

道路の維持修繕

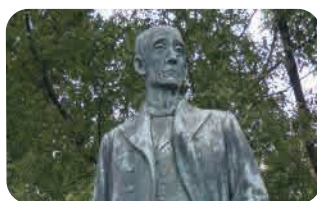
問 道路の維持修繕を交通安全対策や防災対策ともとらえ、予算を増やすべきと考えるがどうか。

答 道路の維持修繕の必要性は十分認識しており、近年は予算を増額するとともに、維持管理の重点化に取り組んでいるところです。今年度は、全国的に痛ましい交通事故が発生している状況を踏まえ、県内全域で区画線の状況を調査し、重点的に修繕を行うなど、通行の安全確保に努めています。

令和2年濱口梧陵生誕200年

問 濱口梧陵生誕200年の記念事業の実施は、広く功績の周知を図る絶好のチャンスと考えるがどうか。

答 「津波防災の日」や「世界津波の日」は、濱口梧陵の偉業が原点であることから、改めて津波防災の重要性を世界に発信するとともに、初代県議会議長、初代郵政大臣(当時は駅通頭)であったことや、伝染病の予防治療にも大変な努力をされた功績があったことについて、世界に発信したいと思っております。



濱口梧陵像

ひきこもり者への就労支援

問 県内のひきこもり状態にある方への就労支援の現状と、今後の対策はどうか。

答 那賀振興局を除く6振興局と串本支所に就労支援員を配置し、求人情報の提供などを行っています。就労に向けた準備が必要な方には、社会福祉法人等で規則正しい生活や協調性を身につけてもらうなど、就労に必要な基礎能力形成のための支援を行っています。粘り強く切れ目のない支援が重要ですので、市町村や地域の事業者と緊密に連携してまいります。